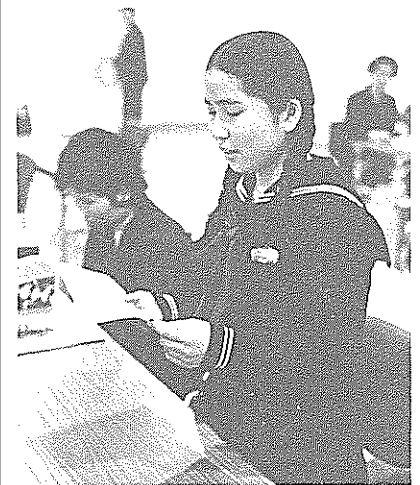


市民のひろば



母子家庭の中卒者激励会で

声

心身障害者・児の手をつなぐ親の会

世の中に何が不幸と申しまして、自分の家庭に心身障害児者を持つていては、何と不幸なことではないかと考えます。社会の谷間にありまして何の希望も何の光もなく重い十字架を背負って不幸な人生を歩んでおります。心身障害児・者たちとその家族の方々に精神的、物質的に救済する方法を講ずることが今日の福祉国家の第一になさなければならぬことだと存じます。最近社会福祉の音が高まりまして心身障害者に対する福祉の道が

拡大されておりますことは私たちが関係者に取りまして真にありがたいことだと存じます。しかし心身障害者たちの福祉問題で県なり国なりにやってもらいたいことはまだまだたくさんあります。自分たちの苦しい体験より得ました切実な要望を社会に訴へるには一人だけの力ではできません。そこに手をつなぐ親の会の使命があります。

まず、心身障害者を持つ家庭の親がひとりでの身の不幸を厭うことなく境遇を同じくする者同志が地域ごとに小グループを整って、互いに心身障害者を持つ目頃のなやみや苦しみを思い切りぶちまけ、会合に出た人には必ず一言はいつてもらうというような会につくり上げ、長い間心身障害者を扶養してきた苦しい体験から割り出した福祉面の要望を結集することが福祉

親子クイズ⑱

あなたもクイズをあててみませんか？ 答えは今月号の広報にてです。

- ▼もんだい
 - ①48年度の一般会計予算は、〇〇億2,220万円です。
 - ②「広報なんこく」は、今月から1カ月に〇回（1日と15日）発行することになりました。
 - ③市庁舎のすべて特集号の一万円クイズ（第18回）の答えは、〇番でした。

▼しめきり
4月30日（月）

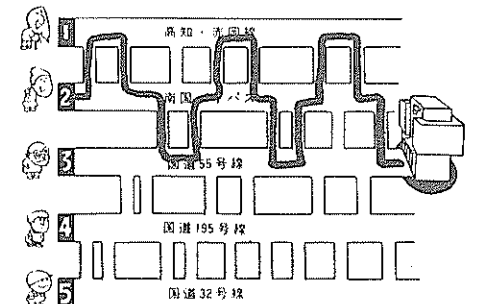
▼おくりさき
南国市大浦、南国市役所内、広報委員会、親子クイズ係あて

▼しょうひん
特賞 2,000円 1人
残念賞 記念品 10人

坂本和隆くんら10人に
第18回の正解

▼こたえ……②番の人
応募された枚数は112枚。このうち正しい答えのものが91枚ありました。このため、抽せんで次の10人の人たちに、それぞれ千円を送ることにしました。また、応募者のなかから抽せんで20人の人には記念品を送ることにしました。

- 正解者の発表
- ▼入賞者・千円、十人
 - 松木理恵（片山）橋田由美（前浜）片岡昭子（廿枝）坂本和隆（植野）坂本時子（植野）村田操（西山）竹崎ひとみ（外山）島村猛（物部）浜田福恵（岡豊）小川勢子（田村）
 - ▼残念賞・記念品、二十人
 - 前田圭子（大浦）片岡市助（廿枝）中沢由美子（岡豊）奈木昭人（東崎）井沢利恵（浜改田）田淵扶美代（小笠）水口美香（十市）前田康宏（大浦）松村光鶴子（井の沢）松岡利枝子（東崎）西川鈴江里改田（中村浩平（久枝）岩戸宏観（東崎）浜田敦子



要望を研究する。

五、勇気 現状を打開するには勇気があります。いかなる辺地でも心身障害者の家庭を孤獨にすることなく、小地域より大地域へと、お互いに愛情の輪を広げ、他の会と同一歩調を取り、社会に取り残されることのないよう自分たちの切実な要望を、達成することに努力しなければならぬ。

市営の保育所が各地区にあるようですが、私も岡豊町の保育所は人員がオーバーしているのに、希望者がみんなが入所できないと聞きました。地理的に高知、後免などは遠く小さいこともちよつと無理がいくように思います。

あり、真の福祉の道に通ずるものと信じます。

（南国市手をつなぐ親の会理事長 岩村正勝、市社会福祉協議会内）

そこで、野市町では（町営です）が小学校内に一クラス幼稚園を設けています。学校前の一年は、幼稚園に行かせたいと思う人は少なくないと思えます。こうして保育所に負担をかけずみんなが入所できるようにしてはどうかと提案します。

森本康宏（28）
定林寺・農業

トピックス

◀「卒業おめでとう」母子家庭の中学校卒業者を励ます会で、徳橋助役さんも「十八番の手品」を披露、なごやかなかにも意義のある一日をすごしました。

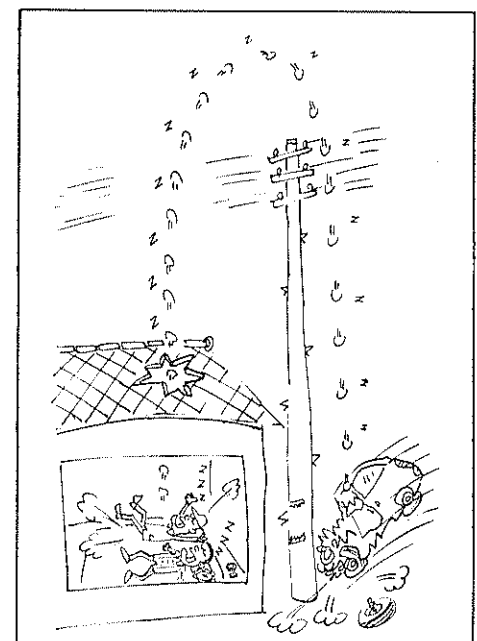


▶第三日曜日は「家庭の日」みんなで明るい家庭を。と呼びかけました。
▲西村正豊くん（越戸）は、スベインの技能オリンピックに日本代表で参加し、木工部門で入賞。金堂市長さんの机も、彼が腕をふるった傑作です。



▲解放同盟野中支部などの主催による第1回将棋大会が、3月18日中央福祉館で開かれ、川村政澄さんが優勝。2位国沢進さん、3位吉村一男さん。

春眠



古谷栄幸（植田）